

# 第111回経営協議会議事要録

日時 令和4年5月27日（金）13時30分～15時00分

会場 大学本部棟5階 第1会議室

出席者（委員）

渡邊、丸茂、赤澤、奥村、北島、佐山、進藤の各委員

島田学長、清水理事、中村理事、松川理事、熊田理事、榎本理事、風間理事

（列席者）

市川理事、齋藤監事、八巻監事、黒澤副学長、白沢相談役、志村企画部長、石原総務部長、

種田財務管理部長、壬生施設・環境部長、窪田教学支援部長、深澤研究推進部長、

野中医学域事務部長、

中村監査課長、望月広報企画課長、石井総務課長、土屋人事課長、仲野財務管理課長、

海老名総務課課長補佐

議事要録確認

第110回（4.3.25開催）の経営協議会議事要録を確認した。

審議事項

## 1 就業規則の一部改正（案）について

松川理事から、資料1により、令和4年4月1日付け組織改編により、医学域医療支援課が新設されたことに伴い、就業規則の一部を改正することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

- ・国立大学法人山梨大学俸給の調整額支給規則
- ・国立大学法人山梨大学非常勤職員俸給の調整額支給規則

## 2 千葉工業大学との包括連携協定の締結（案）について

清水理事から、資料2により、社会環境の急激な変化や本学の喫緊の課題である工学部改組等への対応に向け、教育・研究活動の包括的な交流及び相互の連携・協力の推進を目的に千葉工業大学と標記協定を締結することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

その上で、協定締結式を6月20日（月）に本学で開催予定であること、及び連携に係るアイデアや希望等がある場合は、企画課宛に連絡願いたい旨の説明があった。

## 3 令和5年度施設整備費等概算要求（案）について

熊田理事から、資料3により、施設整備費（一般事業）6件及び施設費交付事業費（営繕事業）1件を選定し、標記概算要求を行うことについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

## 4 令和4年度施設環境整備費等執行計画（案）について

熊田理事から、資料4より、施設環境整備費（計画執行）、施設環境整備費（樹木一元管理）、小規模修繕費及び宿舎維持管理経費の執行計画について説明があり、審議の結果、これを承認した。

報告事項

## 1 工学部改組に係る対応状況について

清水理事から、資料5により、令和6年度実施の工学部改組に関し、以下の構想を中心に大学HPにおいて公表を行ったことについて報告があった。併せて、今後は文部科学省と適宜協議しながら進めていく旨の説明があった。

- ・1学科複数コースへ再編し、クリーンエネルギー化学コースや総合工学クラスを新設すること。
- ・1年次においてはコースを大括りにした5クラスでの基礎教育を重点的に実施すること。

## 2 令和3年度大学機関別認証評価の評価結果について

清水理事から、資料6により、標記評価結果について、(独)大学改革支援・学位授与機構から大学評価基準に「適合している」と評価され、認定証が交付された旨の報告があった。

また、“優れた点”として教職大学院及び修士課程生命環境学専攻の取組が評価された一方、“改善を要する点”として入学定員充足率の不足(修士課程看護学専攻)及び超過(博士課程医学専攻)が指摘されたことから、今後改善計画を策定の上、適切に取り組んでいく旨の報告があった。

報告事項3～6(資料7～10)については、新型コロナウイルス感染症防止の観点(会議時間短縮)から、説明を省略して各自確認することとし、意見等がある場合は、担当理事等に連絡願うこととした。

### 3 教育研究評議会の開催状況について(資料7)

### 4 役員会の開催状況について(資料8)

### 5 (一社)大学アライアンスやまなしの活動状況について(資料9)

### 6 令和3年度資金運用実績について(資料10)

## 懇談事項

### 1 外部有識者との意見交換実施状況について

島田学長から、机上配付資料1により、外部有識者との意見交換に係る内容要旨について、報告があった。

### 2 新型コロナウイルス感染症への対応について

島田学長から、机上配付資料2により、本学における令和4年3月以降の対応状況等について、報告があった。

### 3 ウクライナの学生への支援について

島田学長から、机上配付資料3により、ウクライナの大学院生への遠隔授業の提供状況及び本学へのウクライナ人学生の受け入れ状況について、報告があった。

### 4 山梨大学東京オフィス平河町の開所について

島田学長から、机上配付資料4により、5月26日(木)に山梨大学の東京での拠点となる「東京オフィス平河町」の開所式を行ったことについて、報告があった。

次回会議 令和4年6月23日(木)13時30分から開催することを確認した。

## 学外委員からの意見等

### 審議事項

#### 2 千葉工業大学との包括連携協定の締結（案）について

（北島委員）

千葉工業大学との連携は良い取り組みだと思う。両大学を比較すると、学生収容定員は千葉工業大学の方が本学よりも2倍程度多いが、教職員数は本学の方が多くなっている。これは医学部を有していることからか。

（島田学長）

貴見のとおりであり、千葉工業大学は医学部を有していないため、本学よりも教職員数が少なくなっているものとする。

（奥村委員）

千葉工業大学との包括連携協定の締結は素晴らしいことだと思う。工学部などで、民間企業の第一線で活躍している方に講義をしてもらえそうな仕組みがあると、民間企業との交流が進むのではないか。

（島田学長）

クロスアポイントメント制度等を利用して推進したい。

（進藤委員）

千葉工業大学の理事長は優れた経営者であるので、自主財源の確保など大学経営の参考にしてほしい。

（島田学長）

理事長は目利きであり、本学に取り入れられることは参考にしていきたい。

### 報告事項

#### 1 工学部改組に係る対応状況について

（丸茂委員）

教育未来創造会議の第一次提言「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について」（令和4年5月10日）において、グリーン人材やデジタル人材の不足、高等学校段階の理系離れ等の問題が指摘されている。経団連としてはリカレント教育など期待している。本学が山梨県の中心となってこれらの問題に取り組んでほしい。

（熊田理事）

社会の変革により、学問分野や技術が変化していくため、組織の改革が必要になる。今回の改組により、デジタル分野を強化して全体の底上げを行いつつ、臨機応変に対応できるような組織にしたい。

（島田学長）

特に、デジタル人材の育成を強化するため、必要な措置を講じていきたい。

（佐山委員）

理系研究者になりたい人が減少しているのは身分が不安定であることが要因か。

（島田学長）

常勤のポスト不足が原因であり、地方大学でポストを増やすことは難しい。

（北島委員）

研究留学を例にとっても、地方大学で理系の研究者に対する支援制度が縮小され、留学者が減っていると感じている。このため、これまで以上に環境を整える必要がある。

以上